

国語科学習指導案

平成29年10月5日（木）第5校時

第5学年 男子6名 女子9名

（のびのび学級1名含む）

1 単元名

立場を変えて書きかえよう 「大造じいさんとがん」

2 単元の目標

残雪に対する大造じいさんの心情の変化を読み、大造じいさんの立場になって書きかえる。

3 評価規準

○指導事項

C(1)エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

評価規準		
国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
①残雪に対する大造じいさんの心情の変化を読み、大造じいさんの立場になって書きかえようとしている。	①残雪に対する大造じいさんの心情の変化を、心情表現に気をつけながら読んでいる。C(1)エ ②山場についての考えを交流し、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ	①言葉の使い方に対する感覚について関心をもっている。 イ(カ)

4 教材観

3年間にわたる大造じいさんと残雪との戦いの物語。残雪の存在によりがんが手に入ることが出来なくなり、大造じいさんは残雪をいまいましく思っている。しかし、はやぶさの出現をきっかけに、大造じいさんの残雪に対する見方が大きく変容する。文章としては、美しい情景描写や中心人物の心情や生き方が生き生きと描かれている。4つの場面から構成され、1、2の場面が3の山場へ向けての伏線となっている。3では、それまでの静かな緊張感のある時間の流れと違った迫力のある展開となっている。そして、最後の4では、一転、物語を気持ちよく読み終える美しい終末となっている。大造じいさんの3つの作戦を中心として、情景や人物の心情の移り変わりを読み進め、物語の山場となるところを自分なりの考えを持って見出し、その場面を大造じいさんの視点に変えて作り直すことで、再度、山場での大造じいさんの心情を想像しながら読み深めることができるであろう。

5 児童観

(削除)

6 指導観

児童には、単元のねらいを捉え、自分の考えを生かしながらも、友達との交流を通して、考えを深めたり、広めたりできるようにしていきたい。

まず、単元の目標にかかわって、山場がどこなのかを考えさせる必然性を生むために「山場を書きかえる活動」を設定した。山場は、教科書P107に「物語の中で、中心人物の心情や行動などが大きく変わるところ」と定義されている。はじめとおわりの変化を捉えるために、冒頭部分での大造じいさんの設定を読み取ることができるようにしていく。大造じいさんの説明については、本文中に3行程度に終わっているため、狩りをしている猟師であることや、生活がかかっていること、残雪をいまいましく（腹立たしく）思っていることなど想像したりしながら、十分に読み取らせる必要がある。

山場を書きかえるためには、山場がどこなのかを明らかにしなくてはならない。そして、山場を明らかにするためには、中心人物の心情（または行動）を読み取っていかなければならない。という論理によって、学習としては、中心人物の心情を読み取っていく内容を中心に進めて行く。

中心人物の心情が表れている表現として、「会話文」「心内語」など直接的な表現から、前単元で学んだ情景描写なども生かしていき、豊かに読み取れるようにしていく。

心情を読み取るにあたっては、場面ごとではなく、場面全体を通して読むことの方が変化の様子に気がつきやすいと考え、「丸ごと読み」をし、場面の1～3を読んでいく。また、その際、内容を十分に把握している必要があるため、単元に入る前から、授業外で音読をさせていく。

山場を考える時には、自分の立場を明らかにすることを大切にしたい。一つに決めることで自分の理由を明らかにし、発表したり、考えを受け取ったりする中で、考えに深まりや広がりが見られると考える。

7 単元計画（8時間）

時	学習活動	留意点	評価
①	○これまでの物語の学習で学んだことを確認する。 <div style="background-color: #cccccc; padding: 2px; text-align: center;">大造じいさんの立場に変えて、山場を書きかえよう。</div> ○「山場」について知る。 ○立場を変えて書くことを確認する。 ○全文の範読から初発の感想を書く。	・山場は中心人物の心情にかかわるため、大造じいさんの心情を考えていく。 ・児童の感想を③時以降の授業内でも関連付けて扱うようにする。	関①
②	○感想を交流する。 ○大造じいさんの設定、物語を通しての心情の大まかな変化を考える。 ・作戦を経るにつれて変化していることに気付く。	・感想一覧をもとに交流する。 ・設定と心情の大まかな変化を主に扱う。 ・はじめとおわり。	読①
③	○物語が何年間のできごとか考える。 ○大造じいさんの作戦を読み取る。 ・作戦名を考える。	・「その翌年も」「今年もまた」等 ・作戦名を考えることによって、あらすじを理解する。	読①
④ ⑤	○じいさんの（残雪への）心情が表れている部分を考え、他の場面と比べる。 ○場面を追うごとのじいさんの心情の変化を捉える。 ○山場だと思う部分を決める。（一文から二文程度）	・叙述をもとに、想像をふくらませて読んでいく。 ・じいさんの苦労、意気込み。 ・じいさんにとっての「残雪」のとらえ方	読①
⑥ 本 時	○山場について確認する。 ・これまでの学習をふまえて、じいさんの残雪に対する心情の変化をふり返る。 ・山場だと思う部分について、考えを交流する。	・クラスで、一つにまとめず、自分で山場だと決めたその理由を重視する。交流の中で、決めた根拠がより確かになったり、変えたりできるようにする。	読②
⑦	○山場だと考えた部分を含む文章を大造じいさんの立場で書きかえる。 ・主語を一人称にする。 ・じいさんの人からや心情をふまえて考えたことを挿入する。	・叙述をもとに、想像を膨らませるようにする。	関① 言①
⑧	○書きかえた文章を交流する。 ・どこを山場と選んだか。 ・よく書けているところ、おもしろいところを中心に感想を交流する。	・ペアやグループを使って、限られた時間で多くの交流をし、感想を述べたり、自分への感想を聞いたりできるようにする。	読② 言①

8 本時案 (6/8)

○本時の目標

物語の山場について、交流を通して、自分の考えを深めたり、広げたりする。

	児童の学習活動・思いや考え	留意点 ※評価
とらえる (7分)	1. 前時までの大造じいさんの残雪に対する心情の変化をふり返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">山場について考えよう。</div>	・山場の意味の確認。 ・個々に音読。
考える (6分)	2. 山場を含むと考える場面を音読する。 3. 山場だと考える部分、理由を確認する。 4. 山場だと考える部分を発表する。 5. 自分の考えた山場を明らかにする。	・個人 ・数名 ・ネームプレート
深める (27分)	6. グループで考えを交流する。(交流後ネーム移動してもよい) 7. 全体で友達の考えと比べ、山場だと考える根拠を明らかにしながら交流する。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>○銃をおろしてしまった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで打とうとしていて、 せつかく、打てたのにしていない。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>○大造じいさんはかけつけた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心配しているから ・走っている </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>○いかにも頭領らしい、堂々たる態度のよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たかが鳥→えらい人 ・「堂々」と見えている </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>○強く心を打たれて、ただの鳥に対してしているような気がしなかった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感動している </div> </div>	・2~3分程度 ※根拠をもって山場を考えている。(発言・ノート) ・全員が同じところを選んだ場合は、教師が異なる意見を提示する等、比べて考え、深められるようにする。 ・自分の感動をもとに山場を決めた考えは、じいさんを軸に考えられるように問い返す。 ・個々に考えさせたいこと等、必要に応じてペアでの交流を行う。
ふり返る (5分)	8. 交流をふまえて、学習をふり返る。 9. 発表する。 10. 次時への展望。	※交流を通して、考えを深めたり、広げたりしている。(ノート)

○板書計画

<p>○強く心を打たれて ただの鳥に対してしているよう気がしない</p>	<p>○いかにも頭領らしい 堂々たる態度</p>	<p>○銃をおろしてしまった</p>
<p>大造じいさんとがん 棕鳩十</p>		
<p>山場について考えよう。</p>		
<p>※山場とは中心人物の心情・行動が大きく変わる所</p>		